



校訓 『向学』『友情』『創造』

古賀北中 学校だより

回覧用

1月号

令和5年1月27日 No.9

古賀市立古賀北中学校

校長 早川 昌吾

生徒数 556名

1年生 188名

2年生 189名

3年生 179名

令和4年が過ぎ、令和5年がはじまる・・・ 北中においても大きな節目（引き継ぎ）を迎えました

昨年12月23日に令和4年度生徒会役員退任式が、年が明けて1月6日には新生徒会役員認証式が行われました。これまで引き継がれてきた北中生徒会が大切にしてきた“つながり”の襷(たすき)が引き継がれました。

思い出すと、今年の生徒会は「想い合い」をキーワードに先輩達から託された「つながりを大切に作る心」をしっかりと引き継ぎ、そして膨らませることができたと思います。退任式では旧役員がこの1年を振り返り、自分の言葉で仲間への感謝の気持ちと自己の充実感を全校の仲間達へ伝えていました。旧役員の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとう。



生徒会長の新藤さんをはじめ、副会長 井町君、今任さん、書記 熱田君、篠倉さん、学習委員長 廣渡さん、生活委員長 井手上さん、整美委員長 椎葉さん、図書委員長 桐谷さん、体育委員長 本蘭さん、保安委員長 姫野さん、給食委員長 吉村君からやり遂げた充実感と、母校北中への想い、そして次の後輩達に送る温かいメッセージが述べられていました。

体育委員長 本蘭さん（一部抜粋）

体育委員長として、他の生徒会役員だけでなく、全校生徒のみなさんと最後まで全力でやり遂げることができたことが私にとって、一番の誇りと自信です。この一年間で大事にしてきたことは「最後は全員が笑顔でいれば必ず乗り越えられる」ということです。全校生徒のみなさんにもこれからの生活の中で、思いやりの心、そして笑顔を忘れず、たくさんのことに全力で挑戦してほしいと思います。最後に、どんなときも笑顔であふれているこの北中は、私にとってかけがえのない場所であり、全校生徒のみなさんの笑顔を作れたことが私にとってかけがえのない喜びです。1年間、ありがとうございました。

「笑顔」＝「前向きな心を仲間に伝えるメッセージ」と受け取ることができます。そして、自己の役割を果たしたという充実感と、それを支えてくれた仲間の感謝の想い。まさに、「つながる・ささえる・かなえる」が実現できた姿だと思います。ほかの役員全員も、北中への熱い思いを語ってくれました。全員のメッセージを紹介したいところですが、紙面の都合上、本蘭さんののみを紹介させていただきます。

そして、襷(たすき)を引き継いだ新生徒会役員 認証式。新生徒会長 中村さんが役員を代表して挨拶を述べました。

新生徒会長 中村さん の代表挨拶（一部抜粋）

昨年までは、新藤会長をはじめ3年生の先輩方が北中の伝統を築いてくれました。その「温かいパス」を私たち後輩は確かに受け取りました。私たち全校生徒の力で、新しくよりよい北中をつくっていきたくと思っています。しかし、生徒会活動は役員だけではできません。一人一人の力は小さくとも、皆が同じ目標に向かって進んでいくと大きな力となります。皆さん一人一人の力が必要です。協力をお願いします。まだまだ分からないことばかりで、不安な部分もありますが、学校生活が充実したものになるように、役員10人で全力を尽くします。これから1年間、よろしくお願いします。



新春1月2日・3日に行われる「箱根駅伝」で観る最もいい場面は、各 구간を走りきり、次の走者へ襷(たすき)を引き継ぐ瞬間だと思います。「たのんだぞ!」「よくやった!・後はまかせとけ!」という熱い想いが一本の襷(たすき)に込められて、想いがつながっていく光景です。

3年生旧役員とそれを支えた3年生の想いを、2学年の新役員とそれをささえる2年生を中心に、そして1年生もそれをしっかりと支え、しっかりとつないでいってほしいと希望します。頑張ろう! チーム北中!



新入生 丸ごと中学校体験 **後輩を温かく迎えることができました！**



1月13日(金)には、千鳥小・花見小・舞の里小の6年生が午前中から一同に集まり、中学校生活を実際に体験しました。

現1年生の皆さんが12月から後輩を迎えるにあたって、「緊張をほぐすには?」とか「どうしたら安心してくれるか?」など、相手意識をもって考え一生懸命に準備してくれました。

体験内容は、関係をほぐす「アイスブレイキング」にはじまり、中1との協働解決活動を通じた交流、さらには、生徒会役員による「中学生活紹介」最後は中学校教員による「授業体験」です。

前日まで色々と工夫したり相手のことをよく思いやって準備したり、当日、優しい笑顔で接してくれた1年生の皆さんを、「温かく頼もしい」と感じた取り組みでした。きっとこの想いは校区の6年生の皆さんに届いたことだと思います。



GWで1年生が交流



3年にわたる大規模改修ほぼ完成 **関係機関の皆様ありがとうございました**

令和2年度から設計、3年度には教室棟、4年度には管理棟と、計3年をかけて校舎の大規模改修が行われ、新しい北中に生まれ変わりました。これまでご尽力いただいた教育委員会をはじめ関係諸機関の皆様、さらには施工業者の皆様に感謝申し上げます。おかげをもって「誰に対しても温かく過ごしやすい学び舎」に仕上げてもらうことができました。



配慮された手洗い場



明るい廊下

この素晴らしい環境をこれからも北中の先生と生徒とで大切にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

玄関やトイレのあったかいレイアウトは事務の中嶋先生、図書館の川尻先生作です



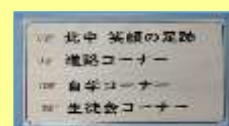
トイレ



「北中アンビシャス広場」 **北中生徒の「志」を立てる場所です**

教室棟1Fのスペースを「北中アンビシャス広場」と名付けました。

この場所は、北中生徒のみなさんが、将来の自分の在り方(進路、仕事、生き方)を仲間と話し合ったり先生と一緒に考えたりする場所として整えました。また、自習スペースや「笑顔の足跡」という歴代の先輩達の集合写真も掲示してあります。この場所をつかって夢を語り合ったり、将来に対する不安な気持ちを支え合ったりと、みんなの大切な場所にしてほしいという思いでつくりました。ぜひ、たくさんの北中の仲間が集う場所にしてほしいと思います。



アンビシャス広場



進路相談コーナー



卒業生写真



自習コーナー



隣接する人権コーナー

先生の活躍紹介

北中の皆さんがお世話になっている村上優子先生が、この度『令和4年度福岡県とびうめ教育表彰』において「福岡県公立学校教育マイスター」として表彰を受けました。「マイスター」とは「専門性が高い」「職人」という意味です。村上先生は、その指導力と他の先生の模範となる実践を行っているという点を高く評価され表彰されました。

また、保健体育科の辻絢也先生は、年末12月に行われた全国中学選抜ラグビーフットボール大会において福岡県選手団のコーチとして参加し、見事準優勝に導きました。

<2月の主な予定>

- ※ 1日～2日 福岡地区以外の私立前期入試
- ※ 3日 福岡地区私立前期入試(3年未受験者は自宅学習)
- ◇ 6日 生活アンケート
- ※ 7日 公立高校推薦入試
- ※ 8日～10日 後期期末考査(3年は9・10のみ)
- ※ 11日 私立高校後期入試
- ※ 12日 国立高専一般入試
- ◇ 22日 授業参観(1・2年のみ)
- ※ 24日 古賀竟成館高校 入試